

日本小児血液・がん学会総会議事録

日時：平成 24 年 11 月 30 日 13：00～13：30

場所：パシフィコ横浜 会議センター 第 2 会場

開会宣言

石井理事長より開会宣言があった。現在会員数 2224 名で出席 230 名、委任状 1064 名、計 1294 名で、定款で定められた成立定足数である過半数を満たして当総会は成立することが報告された。

石井理事長が議長を務めることとなった。

物故会員への黙とう

物故会員 4 名に対して出席者にて黙とうを行った。

議事録署名人

- ・独立行政法人国立病院機構 香川小児病院 岩井朝幸先生と九州大学医学部附属病院小児外科の宗崎良太先生が推薦され承認された。

第 54 回学術集会会長挨拶

- ・学術集会加藤会長より挨拶があった。

事業報告

- ・石井理事長より資料に基づき平成 23 年度の事業報告があり質問なく承認された。事業実施の成果としては、日本小児血液・がん学会となって初年度であり、体制整備を行うとともに、事業活動を充実・発展させ、法人として主催する学術集会にも注力し、本法人が質の高い事業を提供していけるように努めたことが報告された。

事業計画

- ・石井理事長より平成 24 年度の事業計画が説明され質問なく承認された。方針として 24 年度は、事業規模を拡大するとともに活動内容の整理を行い、財政基盤を整え学会運営の効率化を図りたい。それにより、小児血液疾患、小児がん医療の向上に寄与してゆきたいことが報告された。

決算報告

- ・平成 23 年度収支計算書が提示され、その内容が池田財務委員長より説明された。異議なく承認された。

収支予算書

- ・平成 24 年度収支予算書について、池田財務委員長より説明された。異議なく承認された。

監査報告

- ・伊藤監事から監査報告があり、適切に運営しているとの報告があった。

新評議員の件

- ・新評議員として申請をした 61 名が承認された。

委員会報告の件

- ・石井理事長より、平成 23 年度の日本小児血液・がん学会の各委員会の活動が積極的に行われたことが報告され 承認された。

報告事項

1. 疾患委員会の委員の任期の変更について

- ・石井理事長より疾患委員会の委員の交代時期をそろえるために、血小板委員会と止血血栓委員会の任期を 1 年ずつ延長し、ほかの 4 つの委員会と揃えることとなったことが報告された。

2 定款施行細則の評議員の選出の記載方法について

- ・石井理事長より定款施行細則の評議員の選出の記載方法が変更され、ホームページ上で掲載されることが報告された。

3. 第 57 回日本小児血液・がん学会学術集会会長

- ・石井理事長より第 57 回日本小児血液・がん学会学術集会会長として、山梨大学医学部小児科の杉田完爾が選出されたことが報告され、杉田先生から挨拶があった。会場は甲府で時期は 11 月末の金曜～日曜の予定であることが報告された。

4. 第 55 回日本小児血液・がん学会学術集会進捗状況

- ・第 55 回学術集会事務局長の九州大学木下義晶先生より進捗状況が説明された。

会期 2013 年 11 月 29 日～12 月 1 日

会場 ヒルトン福岡シーホークホテル

テーマ「わ」をもって尊しとなす ―こどもの未来への和・輪・倭―

5. 第 56 回日本小児血液・がん学会学術集会進捗状況

・第 56 回学術集会会長の岡山大学小田慈先生より進捗状況が説明された。

会期 2014 年 11 月 28 日～11 月 30 日

会場 岡山コンベンションセンター

委員会報告

疾患委員会について藤本副委員長より説明された。

新しい学会になり登録の仕組みが変わる。日本小児血液学会の「血液疾患疫学調査研究」と日本小児がん学会「全数把握登録事業」の 2 つをまとめた「20 歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学調査」の研究計画書を臨床研究審査委員会へ審査提出中。

専門医制度委員会について菊地委員長より説明された。

暫定指導医は現在 251 名。来年 2 月に第 3 回の募集をおこなう。認定外科医は 39 名、研修施設は 89 施設、地域の研修会について 23 研修集會に単位を認めている。専門医の試験を 2014 年秋に行う(当初の予定は 2013 年秋)。小児緩和ケアの研修会を 2012 年 7 月、2013 年 1 月 2 月に行う。教育セミナーを 2013 年 2 月に行う。

石井理事長より個人の会員専用ページの確認について、会員が各自で確認をするよう説明があり閉会となった。

以上